

地震

激震帯の長周期移動に就て

宮部直巳 地震 第1輯
1-3
1929 161-168

文化七年の男鹿寒風山地震に就いて

今村明恒 地震 第1輯
1-3
1929 187-195

地震に対して武装されたる町村と武装なき町村

今村明恒 地震 第1輯
1-3
1929 196-201

紀伊半島に於ける慢性的並に急性的の地形変動に就いて

今村明恒 地震 第1輯
1-5
1929 321-335

活火山と地震

中村左衛門太郎 地震 第1輯
1-5
1929 336-337

地震の発生と気圧勾配との関係

井上宇胤 地震 第1輯
1-5
1929 338-354

関東並に近畿地方に於ける地震活動の循環と大震前の諸現象に就いて(第四回日本学術協会に於て発表せる概要)

今村明恒 地震 第1輯
1-1
1929 4-16

昭和二年三月七日丹後大地震の外国に於ける観測結果

岸上冬彦 地震 第1輯
1-10
1929 723-743

地殻の構造の概要

松澤武雄 地震 第1輯
1-2
1929 81-89

昭和四年七月四日紀伊強震の発生機構と地震前の地盤傾斜とに就いて

今村明恒 地震 第1輯
1-12
1929 847-851

明治大正年間に於ける本邦地震学の発達

今村明恒 地震 第1輯
1-2
1929 90-121

頼山陽と天保大地震

今村明恒 地震 第1輯
2-1
1930 1-3

昭和四年十一月二十日有田川下流地方強震に就いて

今村 久 地震 第1輯
2-3
1930 170-179

南海道大地震に関する貴重な史料

今村明恒 地震 第1輯
2-5
1930 326-328

四国南部の急性的並に慢性的地形変動に就いて

今村明恒 地震 第1輯
2-6
1930 357-371

京阪地方に於ける地塊の慢性的地形変動に就て

今村明恒 地震 第1輯
2-1

1930 4-11

紀伊小畑の潜動に就いて

岩西忠一 地震 第1輯
2-10

1930 632-640

宝永四年の南海道沖大地震に伴へる地形変動に就いて

今村明恒 地震 第1輯
2-2

1930 81-88

京阪地方に於ける地塊運動の特異性に就て

今村明恒 地震 第1輯
3-4

1931 201-219

紀伊名草地震帯に就いて

岩西忠一 地震 第1輯
3-5

1931 257-270

日本古来の地震原因観

石本巳四雄 地震 第1輯
3-1

1931 39-44

地震波の伝播（第一報）

河角 廣 地震 第1輯
3-8

1931 451-483

耐震家屋の一案

久米権九郎 地震 第1輯
3-1

1931 45-50

土台を基礎に緊結することの可否に就て

今村明恒 地震 第1輯
3-9

1931 523-527

文政二年伊勢近江地震に就て

武者金吉 地震 第1輯
3-9

1931 528-538

今村博士の『土台を基礎に緊結することの可否に就て』
に答ふ

田邊平學 地震 第1輯
3-10

1931 589-591

名草地方の地震群に就て

今村明恒・小平孝雄・今村 久 地震 第1輯
4-1

1932 1-17

地震動と地震記象補遺

河角 廣 地震 第1輯
4-3

1932 167-169

紀伊半島に於ける慢性的地塊運動（第二報）

今村明恒 地震 第1輯
4-8

1932 474-478

地震波の伝播（第二報）発震機巧、地殻構造と地震波の
振幅に就て

河角 廣 地震 第1輯
4-9

1932 548-580

地震鯨

鶴岡春三郎 地震 第1輯
4-10

1932 626-633

京阪地方に於ける昭和三年以後の地形変動に就て

今村明恒 地震 第1輯
4-11

1932 681-692

槇尾断層の活動性

江原眞伍 地震 第1輯
5-2

1933 61-70

地震波の伝播（第二報）地殻構造、発震機巧と地震波の振幅に就て（続き）

河角 廣 地震 第1輯
4-11

1932 693-721

紀伊小畑の活断層に就いて

岩西忠一 地震 第1輯
5-11

1933 715-716

地震動と地震記象

河角 廣 地震 第1輯
4-3

1932 71-94

香川県の地震に関する統計

炭谷恵副 地震 第1輯
5-12

1933 771-784

桃山に於ける傾斜変化

川瀬二郎 地震 第1輯
5-2

1933 112-120

紀伊室戸両半島地殻変形の比較

今村明恒 地震 第1輯
6-10

1934 535-540

地震の定義

石本巳四雄 地震 第1輯
5-3

1933 135-140

昭和11年2月21日河内大和の地震調査雑報

吉山良一 地震 第1輯
8-3

1936 105-109

防火宣伝記

今村明恒 地震 第1輯
5-1

1933 1-6

日本に於ける過去の地震活動に就いて（未定稿）

今村明恒 地震 第1輯
8-3

1936 121-134

津浪災害軽減私案

中村左衛門太郎 地震 第1輯
5-4

1933 193-201

地震活動と文化

齋田時太郎 地震 第1輯
8-6

1936 271-283

南海道沖大地震の謎

今村明恒 地震 第1輯
5-10

1933 607-626

串本に於ける陸地隆起の痕跡

今村明恒 地震 第1輯
8-6

1936 309-311

明治 42 年江濃地震による震害と地盤との関係

齋田時太郎 地震 第 1 輯
8-11

1936 563-569

日本に於ける過去の地震活動に就いて（増訂）

今村明恒 地震 第 1 輯
8-12

1936 600-606

丸山断層と若樫断層

江原眞伍 地震 第 1 輯
9-1

1937 1-5

昭和 11 年 2 月 21 日河内大和の地震調査報告

吉山良一 地震 第 1 輯
9-6

1937 250-260

京都桃山に於ける傾斜変化

吉山良一 地震 第 1 輯
9-2

1937 56-58

和歌山県下に於ける宝永安政年度の津浪状況調査

今村明恒紹介 和歌山県土木課調査 地震 第 1 輯
10-6

1938 227-235

真澄紀行に現れた北日本の災異

今村明恒 地震 第 1 輯
10-8

1938 340-347

支那上古代に於ける地震記録と紀元々年より1899年に至る間の各 36 年毎の地震回数

齋田時太郎 地震 第 1 輯
10-9

1938 386-390

災害除け

今村明恒 地震 第 1 輯
11-11

1939 533-536

広村に於ける宝永安政両度津浪の高さ

今村明恒 地震 第 1 輯
12-5

1940 220-222

江戸時代の耐震構造『地震の間』に就て

齋田時太郎 地震 第 1 輯
13-12

1941 372-381

白鳳大地震

今村明恒 地震 第 1 輯
13-3

1941 82-86

埋没してゐた旧田面の再露出に関する一解釈

今村明恒 地震 第 1 輯
14-6

1942 149-153

国学者鈴木重胤の安政地震記

齋田時太郎 地震 第 1 輯
14-3

1942 82-84

増訂大日本地震史料第一巻を読む

今村明恒 地震 第 1 輯
14-3

1942 89-94

慶長九年の東海南海両道の地震津浪に就いて

今村明恒 地震 第 1 輯
15-6

1943 150-150

本邦正史に現はれたる最初の大地震

今村明恒 地震 第1輯
16-5

1944 103-104

木造家屋の歪と耐震強度の関係について

高田理夫 地震 第2輯
2-1

1949 5-9

遠州沖大地震所感

今村明恒 地震 第1輯
16

1944 299-303

南海道地震とその一余震について

吉山良一 地震 第2輯
3-1

1950 22-26

日本における烈強震を受けた指数の分布

金井 清 地震 第2輯
1-1

1948 17-17

横浜市並びに名古屋市の震害分布と地盤との関係

表俊一郎・宮村撰三 建築雑誌

1951 17-22

東南海地震の計測（その1）（海底地震の研究第1報）

越川善明 地震 第2輯
1-2

1948 40-43

危急時反応（emergency reaction）に於ける適応要因の分析—福井地震被災児童の調査より—

藤原信夫 島根大学論集 教育学関係
1

1951 32-36

建物の損傷から見た地震動の性質について

金井 清 地震 第2輯
1-2

1948 44-47

福井地震の走時曲線と地殻構造

吉山良一 地震 第2輯
4-1

1951 9-16

地盤と震害との関係

表俊一郎 地震 第2輯
2-1

1949 1-4

地震統計とモデル

友田好文 地震 第2輯
8-4

1956 196-204

地震学と人文地理学

宮村撰三 地理学評論
22-6・7

1949 28-30

統計地震学の現状

安芸敬一 地震 第2輯
8-4

1956 205-228

大地震前後に於ける地震活動性の変化について（第一報）

村内必典 地震 第2輯
2-2

1949 47-51

福井地震前後の地震波速度の異常

宮本貞夫 地震 第2輯
9-1

1956 47-56

和歌山地方で観測された微小地震の性質について

三雲 健・大塚道男・神月 彰 地震 第2輯
9-4

1957 218-228

彦根市楽々園地震の間の復旧工事について—江戸時代の耐震考慮—

近藤 豊 生活文化研究
7

1958 47-54

名古屋地方の地震初期微動部に現われる顕著な位相と地下構造

飯田汲事・青木治三 地震 第2輯
12-2

1959 75-81

和歌山地方の地殻構造について

三雲 健・大塚道男 地震 第2輯
13-4

1960 199-209

和歌山地方の局地地震の発震機構について

三雲 健 地震 第2輯
13-2

1960 65-77

濃尾地震のマグニチュード

村松郁栄 地震 第2輯
15-4

1962 341-342

地震予知の基本的問題 (I)

宮本貞夫 地震 第2輯
17-4

1964 233-234

南海大地震の前の井戸水の異常

宮本貞夫 地震 第2輯
18-3

1965 170-171

地震のマグニチュードと地表に現れる断層について

大塚道男 地震 第2輯
18-1

1965 1-8

地震予知の基本的問題

宮本貞夫 地震 第2輯
18-1

1965 41-41

「いなむらの火」の史実 (I)—1854年の津波をめぐって—

三好 寿 地震 第2輯
19-2

1966 149-150

「いなむらの火」の史実 (II)—1854年の津波をめぐって—

三好 寿 地震 第2輯
19-2

1966 150-151

京都市近傍の地震前後の地殻のひずみの観測

小沢泉夫 地震 第2輯
19-3

1966 217-225

根尾谷近傍に発生する微小地震の2、3の性質

渡辺 晃・中村正夫 地震 第2輯
20-2

1967 106-115

日本付近の地震の分布と活動 (II)—震源の垂直分布—

勝又 護 地震 第2輯
20-1

1967 1-11

日本の地震および地震学の歴史

宇佐美龍夫・浜松音蔵 地震 第2輯
20-4

1967 1-34

倭蘭年表の地震記事

神田 茂 地震 第2輯
20-2
1967 140-141

近畿地方における微小地震の研究

三木晴男 地震 第2輯
20-4
1967 150-154

紀伊半島西部の局地地震の二、三の性質について

渡辺 晃・黒磯章夫 地震 第2輯
20-3
1967 180-191

地震予知の諸問題

萩原尊礼 地震 第2輯
20-4
1967 181-187

地震の地質学

松田時彦 地震 第2輯
20-4
1967 230-235

地震危険度

村松郁栄 地震 第2輯
20-4
1967 281-290

地震予知について (1)

宮本貞夫 地震 第2輯
20-1
1967 56-57

微小地震観測によって検知された1965年4月20日の静岡地震の余震について

津村健四郎・山田三枝子 地震 第2輯
20-1
1967 57-60

日本付近の地震の分布と活動 (III) —深さと地震活動—

勝又 護 地震 第2輯
20-2
1967 75-84

理科年表の日本大地震表について

神田 茂 地震 第2輯
21-2
1968 141-142

十勝地震による地形災害

西村嘉助・瀬川秀良・水野 裕・堀田報誠・三浦 修・
田村俊和・赤桐洋一 東北地理
20
1968 157-160

空中写真による軟弱地盤の体系的解析

門村 浩 地理学評論
41-1
1968 19-38

近畿地方南西部地殻上層部の構造について

渡辺 晃・中村正夫 地震 第2輯
21-1
1968 32-53

新潟地震—あらたな都市災害

渡辺一夫 法政地理
9
1968 5-11

本邦における被害地震の日本暦について

湯村哲男 地震 第2輯
22-3
1969 253-255

地震災害対策の最適計画

島津康男・杉山公造・平賀一紘 地震 第2輯
23-2
1970 134-141

地震と鉄道

地震と鉄道研究グループ
日本鉄道施設協会
1971 220

地震災害対策の最適計画 (II)

杉山公造・島津康男 地震 第2輯
24-1
1971 1-12

地震：発生・災害・予知

浅田 敏
東京大学出版会
1972 242

**茨城県・鹿島臨海工業地帯の地震水害危険図についての
二、三の資料**

角田清美 駒沢大学大学院地理学研究ノート
4
1974 78-88

「理科年表」地震の部の変遷

宇佐美龍夫 地震 第2輯
28-2
1975 217-219

災害の歴史地理—歴史地理学紀要 18

歴史地理学会
古今書院
1976 301

愛知県西尾市における地震対策の紹介

太田 裕 地震 第2輯
29-2
1976 191-193

理科年表 (昭和 51 年度) と中国地震目録の比較

宇佐美龍夫 地震 第2輯
29-2
1976 194-197

災害による国府の移転

木下 良 災害の歴史地理—歴史地理学紀要 18 (歴史地理学会編)
古今書院
1976 5-24 (301)

地震と火山の災害史：土地に刻まれた災害の記録

伊藤和明
同文書院
1977 283

座談会 東海地震と防災

宇佐美龍夫 地理
22-9
1977 13-47

安政江戸地震と会津藩邸

猪股恒三 歴史春秋
9
1977 29-36

随筆 地震と古文書

宇佐美龍夫 古文書研究
11
1977 87-88

地震災害の防止と対策：地質学からの予見

守屋喜久夫
鹿島出版会
1978 223

地震災害対策と地震予知公表の Risk Assessment

島津康男・平松敏祐 地震 第2輯
31-2
1978 147-160

富山県西部地震 (1976) と木舟城の崩壊

藤井昭二 自然と社会
44
1978 27-30

和泉山脈南麓域における中央構造線の断層変位地形と断層運動

岡田篤正・寒川 旭 地理学評論
51-5
1978 385-405

静岡県東部地区の地震災害

古坂良雄 日本大学三島学園生活科学研究所報告
1
1978 51-54

地震により表層滑落型崩壊が発生する範囲について

田村俊和 地理学評論
51-8
1978 662-672

大学の地震災害とその予防対策

東北大学地震災害研究会
文教ニュース社
1979 124

地震防災：予知の現状と対策の具体例

高橋 博
白亜書房
1979 348

活断層における既往地震の履歴図—地震予知の基礎資料として—

寺島 敦・横田 崇 地震 第2輯
32-1
1979 1-10

丘陵地における木造家屋の地震被害—被害タイプおよび被害発生に関する地盤条件の時代による変化—

田村俊和 総合都市研究
8
1979 121-130

活断層と地震発生に関する六つの経験則

松田時彦 地理
24-9
1979 13-20

海底の活断層

茂木昭夫 地理
24-9
1979 21-28

地震時避難場所の配置計画の検討(1)—問題の定式化の試み—

太田 裕・鏡味洋史 地震 第2輯
32-1
1979 25-40

活断層と地形学

金子史朗 地理
24-9
1979 29-38

日本地震史料の恩人たち—田山実と武者金吉—

宇佐美龍夫 地震 第2輯
32-3
1979 355-358

活断層地図について

貝塚爽平 地理
24-9
1979 39-44

地震と火山：大自然の猛威

G.B.オークショット著/中村一明・袴田和夫共訳
サイエンス社
1980 207

宮城県沖地震による仙台周辺の住宅地における被害—住宅地の地震に対する土地条件—

村山良之 東北地理
32-1
1980 1-10

地震保険の研究

黒木松男 創価大学大学院紀要
2
1980 131-150

宅地開発と自然災害

田村俊和 環境情報科学
9-3
1980 37-48

比良山地東麓南部の活構造

寒川 旭・杉山雄一・八木浩司・奥村晃史 日本第四
紀学会講演要旨集
12
1980 82-83

わが国の地震学のあゆみ

宇佐美龍夫 地震 第2輯
34-99
1981 1-36

地震時避難場所の配置計画の検討(2) —避難人口・収容能力の変動と地震危険度の考慮—

太田 裕・鏡味洋史 地震 第2輯
34-2
1981 161-174

近畿地方の地震と断層に関連して

中川康一 地学教育と科学運動
10
1981 81-86

奈良盆地東縁の活構造

寒川 旭・衣笠善博・奥村晃史・八木浩司 日本第四
紀学会講演要旨集
11
1981 94-95

西日本の長期地震予測

三木晴男 地震 第2輯
36-1
1982 1-12

大規模地震と大都市圏の応急医療

用丸喜代茂
ぎょうせい
1982 347

地震と建築

大崎順彦
岩波書店
1983 200

現地踏査・ヒヤリングに基づく地震動の強さと木造住家の被害状況

望月利男・荏本孝久・松田磐余 総合都市研究
20
1983 109-121

地震による人的被害の規模について

水谷武司 総合都市研究
20
1983 15-28

1983年日本海中部地震の負傷者

塩野計司・小坂俊吉・加藤 雅 総合都市研究
20
1983 153-167

大都市居住者の防災意識形成と災害対応力に関する研究

中林一樹 都市計画(別冊)
18
1983 187-192

天和の大地震と五十里洪水

佐藤権司 地理
28-4
1983 20-26

防災予防論ノート

中野尊正 総合都市研究
20
1983 3-14

善光寺地震—山崩れと洪水の恐怖—

伊藤和明 地理
28-4
1983 45-54

三陸津波の災害

羽鳥徳太郎 地理
28-4
1983 74-81

昭和58年日本海中部地震—とくに住家の被害について—

松田磐余・望月利男・荻本孝久・川島正雄 総合都市
研究
20
1983 79-90

地震と地盤災害

守屋喜久夫
鹿島出版会
1984 189

地震：発生・災害・予知

浅田 敏
東京大学出版会
1984 278

弥生時代の遺跡に残された地震跡

梅田康弘・村上寛史・飯尾能久・長秋 雄・安藤雅孝・
大長昭雄 地震 第2輯
37-3
1984 465-474

明治14年日本地震学会刊、地震報告と報告心得

濱松音蔵・橋本萬平 地震 第2輯
38-2
1985 251-258

《リレー座談会》都市研究の課題—隣接科学からの提言—；③地震災害の想定と地域危険度

望月利夫・松田磐余 地理
30-1
1985 32-37

日本列島の活断層からみた地震危険度

前杵英明 地理学評論
58A-7
1985 428-438

奈良盆地東縁の活構造

寒川 旭・衣笠善博・奥村晃史・八木浩司 第四紀研究
24-2
1985 85-97

自然の猛威

町田 洋（他）
岩波書店
1986 218

大規模地震と経済災害：企業・市民の取引生活と法律問題

都市防災研究所・商事法務研究会
商事法務研究会
1986 236

災害と日本人：巨大地震の社会心理

廣井 脩
時事通信社
1986 274

土地素因による都市の災害危険指標と危険評価点

水谷武司 総合都市研究
28
1986 127-140

滋賀県高島郡今津町の北仰西海道遺跡において認められた地震跡

寒川 旭・佃 栄吉・葛原秀雄 地震学会講演予稿集
1986 136-136

地震防災のための主題図

中野尊正 地理
31-5
1986 14-21

誉田山古墳の断層変位と地震

寒川 旭 地震 第2輯
39-1
1986 15-24

歴史地震記象と歴史地震

島崎邦彦 地震 第2輯
39-1

1986 161-162

花折断層の変位地形

吉岡敏和 地理学評論
59A-4

1986 191-204

寛政11年(1799年)金沢地震による被害と活断層

寒川 旭 地震 第2輯
39-4

1986 653-664

滋賀県高島郡今津町の北仰西海道遺跡において認められた地震跡

寒川 旭・佃 栄吉・葛原秀雄 地質ニュース
390

1987 13-17

世帯を単位とする総合地震安全診断システム：調査の実施と結果

太田 裕・鏡味洋史・大橋ひとみ 地震 第2輯
40-2

1987 145-157

滋賀県大津市の蛸谷遺跡において認められた地震跡

浜 修・寒川 旭 地質ニュース
390

1987 18-19

巨大地震と東京都民

東京大学新聞研究所「災害と情報」研究班
東京大学新聞研究所

1987 227

京都府八幡市の木津川河床遺跡において認められた近世初期の地震跡

寒川 旭・岩松 保・黒坪一樹 地震学会講演予稿集

1987 315-315

火山と地震の国 日本の自然1

中村一明(他)
岩波書店

1987 338

激震時における人間行動と人的被害—1948年福井地震—

望月利男・早坂修一 総合都市研究
32

1987 37-58

世帯を単位とする総合地震安全診断システム：基本の考え・構成

太田 裕・鏡味洋史・大橋ひとみ 地震 第2輯
40-1

1987 39-50

Basic Studies on Earthquake Disaster Prevention

中野尊正(他) Geogr. Rept. of Tokyo Metropolitan Univ.
22

1987 49-58

京都府木津川河床遺跡において認められた地震跡

寒川 旭・岩松保・黒坪一樹 地震 第2輯
40-4

1987 575-583

琵琶湖西岸の活断層と寛文2年(1662年)の地震による湖岸地域の水没

寒川 旭・佃 栄吉 地質ニュース
390

1987 6-12

1986年11月15日台湾地震災害調査報告

西川孝夫(他) 総合都市研究
30

1987 75-92

防災工学の地震学

笠原慶一
鹿島出版会

1988 179

遺跡の地震跡—最近の研究の紹介—

寒川 旭 歴史地震
4

1988 167-172

学校における地震防災意識と地震危険度との関係

三浦房紀（他） 山口大学工学部研究報告
39-1

1988 195-203

街路の地震時危険度事前評価の一方法

太田 裕・坂井 忍 国際交通安全学会誌
14-3

1988 200-207

中部・近畿地方における歴史地震の発生様式

佃 栄吉・寒川 旭・栗田泰夫 地震学会講演予稿集

1988 44

地震時の人間行動と死傷発生に関する研究

太川 裕・村上ひとみ 地学雑誌
97-5

1988 476-488

米国における災害対策制度と1987年ウィットティア地震の調査報告

望月利男・江原信之 総合都市研究
34

1988 65-92

1946年南海地震の被害追跡調査—津波被災地における人的被害と人間行動—

宮野道雄・望月利男 総合都市研究
35

1988 75-86

自然災害を知る・防ぐ

大矢雅彦・木下武雄・若松加寿江・羽鳥徳太郎・石井弓夫
古今書院

1989 236

地震による死者・負傷者の予測

塩野計司・小坂俊吉 総合都市研究
38

1989 113-128

地震災害による居住生活への支障とその定量的想定手法の検討

中林一樹 総合都市研究
38

1989 129-148

地震被害想定のための地形・地質の分類

松田磐余 総合都市研究
38

1989 13-24

固有地震説雑考

垣見俊弘 活断層研究
7

1989 1-4

都市防災構造化対策

小川雄二郎 総合都市研究
38

1989 169-178

震害予防に関する総合的研究成果の発表等の生活概要報告

望月利男 総合都市研究
38

1989 189-200

災害による人口の減少、移動および回復のプロセス

水谷武司 地理学評論
62A-3

1989 208-224

考古学と古地震研究の接点

寒川 旭 第四紀研究
27-4

1989 241-252

建築物および付帯施設の被害想定手法

望月利男・荏本孝久 総合都市研究
38

1989 25-50

地震と活断層の科学

加藤碩一
朝倉書店
1989 280

大都市における地震災害の様相と震災応急対策の構造

中林一樹 都市問題
80-5

1989 39-51

道路網の震害予測とその事前強化—地震時の交通確保と安全性をめざして—

北浦 勝 交通安全対策振興助成研究報告書
4

1989 44-61

被害想定について幾つかの基礎的な考え方

望月利男 総合都市研究
38

1989 5-12

外国人居住者を対象とした豪雨被害の防災意識調査

野口正人・坂下智慎 長崎大学工学部研究報告
19-32

1989 59-66

Earthquake and urban growth

Roger Bilham Nature
336

1989 625-626

愛知県清州城下町遺跡における地震痕の発見とその意義

森 勇一・鈴木正貴 活断層研究
7

1989 63-69

軟弱地盤・液状化現象

陶野郁雄 地学雑誌
98-6

1989 738-745

大都市企業体における地震防災対策—産業構造の変化への対応と課題—

鈴木浩平・三森友彦 総合都市研究
38

1989 75-88

街道・宿場の移転と地震

寒川 旭・室井利一郎 考古学と自然科学
21

1989 85-92

新潟地震の液状化被害からみた新潟市の液状化危険度

上前慎治・大草重康・生田理弘 新潟大学積雪地域災害研究センター研究年報
11

1989 9-15

地震考古学の展望

寒川 旭 考古学研究
36-1

1989 95-112

地震と建築災害

宇佐美龍夫
市ヶ谷出版社
1990 172

巨大地震と大東京圏

望月利男・中野尊正
日本評論社

1990 299

「なる」に憑かれて善光寺まいり—善光寺の古地震跡の見学記—

小河靖男・角田史雄 地学教育と科学運動
18

1990 102-107

- 木津川河床遺跡の発掘調査（1988年度）において検出された地震の液化化跡
寒川 旭・大草重康・岩松 保 考古学と自然科学
22
1990 103-111
- 神奈川県内の遺跡より検出された地震の痕跡—地割れ・地すべりによる遺構・土層の変位と地震災害—
上本進二 考古学と自然科学
22
1990 13-28
- 地震静穏域に発生した震度4の地震に対する住民の反応（その2）—震度と驚き・怖さおよび行動との関係—
寺島 敦 地震 第2輯
43-2
1990 189-198
- カリフォルニア州の活断層法「アルキストーブリオロ特別調査地帯法」と地震対策
中田 高 地学雑誌
99-3
1990 289-298
- 続・「方丈記」について—大火・辻風・遷都・飢饉・地震
岡田久早雄 教育国語国文学
17
1990 2-9
- 東京レポートタウンは大丈夫か—地震と埋立地—
若松加寿江 地理
35-6
1990 29-33
- 地震報道における誤報と流言についての研究ノート
中森広道 ソシオロジクス
12
1990 39-63
- 遺跡から得られた過去の地震情報
寒川 旭 地学雑誌
99-5
1990 471-482
- ナウマンの地震研究—ナウマンの日本地質への貢献(2)—
山下 昇 地質学雑誌
96-7
1990 561-576
- 私の授業から—微小地震の震央分布を使って
沢井 誠 地学教育と科学運動
18
1990 82-87
- 道路崩壊の“特異な環境”—千葉県東方沖地震による被害—
三谷 豊 地学教育と科学運動
18
1990 93-96
- ライフライン地震工学
高田至郎
共立出版
1991 241
- 最近の遺跡発掘で検出された地震跡
寒川 旭 歴史地震
7
1991 121-126
- 中部日本内陸に起きた被害地震（ $M \geq 6.4$ ）の時空分析に認められる規則性—活動周期と発生場所
金折裕司（他）活断層研究
9
1991 26-40
- 1946年南海地震の被害追跡調査—延焼火災発生地区における人的災害と人間行動—
宮野道雄・望月利男 総合都市研究
41
1991 27-36
- 日本・ペルー地震防災センター（CISMID）の設立過程と創設期に直面した諸問題
棚橋一郎 国際協力研究
7-2
1991 45-56

1985年メキシコ地震におけるメキシコ・シティの被害・
応急対応・復旧

小坂俊吉 総合都市研究

41

1991 47-58

神戸市郡家遺跡の地震跡

寒川 旭・佃 栄吉・藤本史子 考古学と自然科学

23

1991 51-59

大学院の地震防災教育

大町達夫 総合都市研究

41

1991 59-68

地震と災害イメージ—災害報道考察に向けての試論—

中森広道 ソシオロジクス

13

1991 59-78

Post-Event Rapid Estimation of Earthquake Fatalities for
the Management of Rescue Activity

Keishi Shiono・Frederick Krimgold・Yutaka Ohta 総合
都市研究

44

1991 61-106

アメリカにおける地殻変動の研究の最新事情—ロマ・プ
リエタ地震とGPS—

橋本 学 国土地理院時報

73

1991 64-70

被害から学ぶ地震工学

伯野元彦・目黒公郎

鹿島出版会

1992 155

地震と対策：大地震の疑問に答える

高橋 博

白亜書房

1992 364

震災対策の現状と問題点：総務庁の都市防災に関する調
査結果からみて

総務庁行政監察局

大蔵省印刷局

1992 422

根尾村水鳥および中付近における根尾谷断層の第四紀後
期の活動性

岡田篤正・松田時彦 地学雑誌

101-1

1992 19-37

京都市桃山断層の反射法地震探査

川崎慎治（他）地震 第2輯

45-2

1992 239-245

地震災害に起因する帰宅困難者の想定手法の検討

中林一樹 総合都市研究

47

1992 35-76

東京における地震災害と放送

中森広道 ソシオロジクス

14

1992 40-78

地震と情報：地震災害情報の系統的整理に関するワー
クショップ1992年12月21～24日・箱根報告

望月利男・中林一樹・塩野計司

東京都立大学都市研究センター

1993 233

1586年天正地震の震央に関する—考察—濃尾平野の発掘
遺跡に認められた液状化跡—

金折裕司（他）地震 第2輯

46-2

1993 143-147

遺跡の地震跡を用いた古地震研究

寒川 旭 第四紀研究
32-5

1993 149-156

サイレント・アースクエイク—地球内部からのメッセージ—

川崎一朗 (他)
東京大学出版会
1993 254

液状化災害予測の方法

社本康広 第四紀研究
32-5
1993 257-261

地震の予測、その場所・規模・時期—第四紀研究の役割—

松田時彦 第四紀研究
32-5
1993 263-266

The Damage and the Rehabilitation Process after 1990 Luzon Earthquake: Some Cases of La Union and Nueva Ecija

村山良之・平野信一 東北大学理科報告 (第7輯 地理学)
43-1
1993 27-48

推定される京都市内「横大路断層」における反射法地震探査

川崎慎治・小林芳正 地震 第2輯
46-3
1993 275-283

遺跡の地震跡を調べる

寒川 旭 地理
38-1
1993 29-35

ある地震津波流言騒動—揺籠期の地震予知とメディアの情報伝達—

平塚千尋 放送教育開発センター研究紀要
8
1993 33-87

伝統的木造建築の耐震性に関する調査研究—関東地震による鎌倉市内の被害調査—

坂本 功 住宅総合研究財団研究年報
20
1993 339-348

地震と断層の力学

C.H. ショルツ 柳谷 俊訳
古今書院
1993 506

地震被害のデータベース化とその活用—1855年安政江戸地震と1923年関東大震災による江戸・旧東京市についての被害データベース—

望月利男・あべ木紀男 総合都市研究
51
1993 5-16

日本における木造住宅の耐震性—その歴史と現状—

坂本 功 住宅総合研究財団研究年報
20
1993 5-23

神奈川県厚木市東町遺跡における大正関東地震による液状化跡

上本進二・平本元一・飯田 孝 地理学評論
66A-11
1993 703-714

1992年フローレス島沖地震の背景

金子史朗 地理
38-2
1993 85-91

1993年釧路沖地震による釧路市内建物の被害について

近藤 憲 道都大学紀要
16

1993 99-122

新編地震災害と地盤・基礎

守屋喜久夫
鹿島出版会
1994 178

震害に教えられて一耐震構造との日月一

梅村 魁
技報堂出版
1994 185

大地動乱の時代：地震学者は警告する

石橋克彦
岩波書店
1994 234

防災と環境保全のための応用地理学

大矢雅彦
古今書院
1994 339

Seismic Hazards and Mapping of China

G. Ding 地質調査所報告
281
1994 119-124

福井県水月湖の完新世堆積物に記録された歴史時代の地震・洪水・人間活動イベント

福沢仁之（他）地学雑誌
103-2
1994 127-139

応用地理学の実績

大矢雅彦 防災と環境保全のための応用地理学（大矢雅彦編）
古今書院
1994 14-28

災害統計における近世と近代一災害地図データベースの場合一

北原糸子 日本史研究
388
1994 154-164

地震時の地盤の液状化現象と地形

若松加寿江 防災と環境保全のための応用地理学（大矢雅彦編）
古今書院
1994 174-190

地震と断層

島崎邦彦・松田時彦
東京大学出版会
1994 239

A Framework for Regional Global Seismic Hazard Assessment

D. Giardini 地質調査所報告
281
1994 25-35

1917年バリ大地震一植民地状況における文化形成の政治学一

永瀨康之 国立民族学博物館研究報告
19-2
1994 259-310

イギリスの自然災害

エンブレトン 松原彰子訳 防災と環境保全のための応用地理学（大矢雅彦編）
古今書院
1994 265-280

巨大都市における自然災害

J.M. ミッチェル・沢田カヨ子訳 地理
39-9
1994 28-43

応用地理学と環境研究一地理学的な展望一

フェルスタッペン 根岸久美訳 防災と環境保全のための応用地理学（大矢雅彦編）
古今書院
1994 29-43

「地震パニック」の再考—不特定多数収容施設における
人々の行動からの検証—

中森広道 ソシオロジクス
16

1994 42-61

地震どころではない—大口サンゼルス地域の危険に対する
脆弱性と危険緩和カー

B.W. ウィスナー 近藤玲子訳 地理
39-9

1994 44-56

サンフランシスコ・ベイエリアの自然災害—地震と大火
の試練

R.H. プラット 奥村晃史訳 地理
39-9

1994 57-72

地震学習教材の開発

長谷川一夫 青森県情報処理教育センター研究紀要
17

1994 77-84

人工地形改変が災害・環境に及ぼす影響

奥田節夫 防災と環境保全のための応用地理学（大矢
雅彦編）

古今書院

1994 82-98

ロサンゼルスで出会った地震

町村茂子 地理
39-7

1994 84-91

都市大災害

河田恵昭
近未来社
1995 233

活断層

松田時彦
岩波新書
1995 242

阪神大震災とコミュニティ活動

倉田和四生 関西学院大学社会学部紀要
73

1995 1-12

兵庫県南部地震がもたらす地価変動とその問題点

山田浩久 地理
40-7

1995 106-112

防災問題における資料解析研究（22）

河田恵昭・林 春男・田中寅夫 京都大学防災研究所
年報

38A

1995 123-135

有馬—高槻構造線東部の土地利用と土地利用規制

土居晴洋 大分地理
9

1995 17-32

京都の地形分類図と古地理の変遷

植村善博 地図情報
14-4

1995 26-30

阪神大震災と災害情報

廣井 脩 月刊地球
号外 No. 13

1995 260-265

土地条件と旧土地利用にみる 1995 年兵庫県南部地震の
災害状況

福島康博（他）国土地理院時報
83

1995 28-33

兵庫県南部地震の震源特性と地盤震動特性

土岐憲三（他）土木学会誌

1995 32-43

自然災害の教訓に学ぶもの

河田恵昭 土と基礎
43-6

1995 5-8

兵庫県南部地震による豊中市の被害状況

香川貴志 地理学評論
68A-8

1995 550-562

兵庫県南部地震による都市災害について

亀田弘行 京都大学防災研究所年報
38A

1995 99-121

兵庫県南部地震と地形災害

日本地形学連合編
古今書院

1996 182

自然災害を知る・防ぐ〈第2版〉

大矢雅彦（他）
古今書院

1996 257

災害に出会うとき

広瀬弘忠
朝日選書

1996 265

京都盆地東南部の活断層と地形形成

大橋 健 立命館地理学
8

1996 1-18

産業施設の地震被害と耐震—兵庫県南部地震の教訓から—

鈴木浩平 総合都市研究
61

1996 101-110

神戸市における地震火災の発生と延焼メカニズムに関する研究

高井広行（他） 近畿大学工学部研究報告
30

1996 137-154

東灘西部地区における木造家屋被害と人的被害の関係について

村上雅英（他） 近畿大学工学部研究報告
32

1996 139-148

被災による更地化の進行と住宅債券状況に関する研究

安藤元夫（他） 近畿大学工学部研究報告
32

1996 149-158

地震による人的被害小史と1995年兵庫県南部地震の犠牲者

松田磐余 総合都市研究
61

1996 155-166

地震防災ポテンシャルの評価手法に関する基礎的研究—都市特性と被害量による定量評価—

天国邦博（他） 総合都市研究
61

1996 193-200

野島地震断層周辺の地殻変動および被害・地形との関係—写真測量による変位量計測データおよびGISによる分析—

星野 実（他） 国土地理院時報
86

1996 20-36

長崎市全域における防災コミュニティに関するアンケート調査

高橋和雄（他） 長崎大学工学部研究報告
26-47

1996 237-244

古墳時代の地震災害

寒川 旭 考古学と自然科学
31、32

1996 29-43

墓石の転倒からみた兵庫県南部地震の被害分布とその地形環境

川崎輝雄（他） 地理学評論
69A-1

1996 39-50

六甲—淡路島活断層系と1995年兵庫県南部地震の地震断層—変動地形的・古地震学的研究と課題

鈴木康弘 地理学評論
69A-7

1996 469-482

兵庫県南部地震による野島断層周辺の地表面変動

星野 実（他） 地理学評論
69A-7

1996 483-492

芦屋・西宮地区の表層地盤伸微動特性と地震被害の関連性の検討

岩楯徹広 総合都市研究
61

1996 5-23

土地の履歴と阪神大震災

高橋 学 地理学評論
69A-7

1996 504-517

兵庫県南部地震による宅地造成地の地盤災害—阪神地域の被害事例の検討から—

藤岡達也 地理学評論
69A-7

1996 518-530

阪神・淡路大震災における人的被害と避難の地域構造—激甚被害地区についての考察—

石井素介（他） 地理学評論
69A-7

1996 559-578

平安京右京の衰退と地形環境変化

戸口伸二 人文地理
48-6

1996 594-595

阪神・淡路大震災復興に見る21世紀の街づくり—私的空間と公的空間の止揚・再考—

戸所 隆 地理学評論
69A-7

1996 625-637

阪神・淡路大震災—防災研究への取り組み—危機管理と総合防災システム—

河田恵昭 京都大学防災研究所年報
39A

1996 83-101

大都市の地震災害における避難計画のあり方と阪神・淡路大震災の教訓

中林一樹 財団法人福武学術文化振興財団国際交流助成研究成果報告書『阪神震災地域の特性と国際的救助活動に関する地理学的研究』

1996 83-89

危険物施設等の被害から見た兵庫県南部地震—被害の特徴と首都圏施設への警鐘—

三森友彦 総合都市研究
61

1996 91-100

東灘西部地区における木造家屋と人的被害の関係について

村上雅英（他） 近畿大学工学部研究報告
32

1996 97-105

空中写真を用いた震災直後の道路被害状況

塚口博司（他） 阪神・淡路大震災に関する学術講演会論文集

1996

都市防災

吉井博明
講談社現代新書

1996 237

地域防災計画の実務

京都大学防災研究所編
鹿島出版会
1997 242

断層破砕帯における地震波の増幅作用

谷口慶祐（他） 京都教育大学紀要 B 自然科学
91
1997 1-14

阪神大震災における地形別建築物被害

田中眞吾・辻村紀子 地形
18-3
1997 245-262

地理情報システム（GIS）を活用した地震動評価システムの開発

本間俊雄（他） 日本建築学会技術報告集
5
1997 275-280

兵庫県南部地震における豊中市の避難者実態に関する考察

天国邦博（他） 自然災害科学
15-4
1997 287-302

阪神・淡路大震災における消防団の活動（その1）—神戸市消防団の事例—

倉田和四生 関西学院大学社会学部紀要
78
1997 29-44

地震に対する防災意識への阪神淡路大震災の影響、および、その経年変化（中間報告）

天ヶ瀬正博 人文研究（大阪市立大学文学部紀要）
49- 第4分冊
1997 37-66

地震と遺跡（（特集・地震の考古学7）京都府（1））

久保哲正 古代学研究
138
1997 38-39

京都府北部の地震痕跡（（特集・地震の考古学7）京都府（1））

細川康晴 古代学研究
138
1997 40-41

安政東海地震被害の特色

菊池万雄 地理誌叢
38-2
1997 40-50

内里八丁遺跡検出の埴砂（（特集・地震の考古学7）京都府（1））

榊井豊成 古代学研究
138
1997 41-43

地震の考古学8 京都府（2）長岡京跡の地震痕跡と古地震履歴

中塚 良 古代学研究
139
1997 41-55

防災対策に求められること—行政の責任と市民の自己責任—

松尾 稔 道路
672
1997 52-55

防災概念の変革期における地理学の役割

鈴木康弘 地理学評論
70A-12
1997 818-823

N 値の話

N 値の話編集委員会編
理工図書
1998 188

阪神・淡路大震災における消防団の活動（その2）—西宮市消防団の事例—

倉田和四生 関西学院大学社会学部紀要
79
1998 13-34

地震被害を受けた水道の給水・復旧シミュレーション

細井由彦・城戸由能 環境衛生工学研究
12-1

1998 15-24

土石流災害

池谷 浩
岩波新書

1999 221

地震防災対策における地盤評価手法に関する研究

梶川昌三 地理調査部技術ノート
15

1998 178-187

都市社会学

藤田弘夫・吉原直樹
有斐閣ブックス

1999 269

京都盆地北縁、鷹ヶ峰台地の地形特性と活構造

植村善博 佛教大学文学部論集
82

1998 21-35

社会の防災力に関する一考察（II）

河田恵昭・柄谷友香 京都大学防災研究所年報
42B-2

1999 1-12

1995年兵庫県南部地震による断層ブロックの変位解析

平野昌繁 地理学評論
71A-1

1998 21-36

近畿の地震情勢

梅田康弘 地震ジャーナル
28

1999 1-6

阪神・淡路大震災と文化財の復旧—現状と課題—

山田道夫 月刊考古学
390

1998 4-14

広域地震災害における復旧・復興状況の時空間的な推移—阪神・淡路大震災を事例として—

高島正典・林 春男 地域安全学会論文集
1

1999 1-7

近畿地域の主要活断層—大地震との関連を中心として

岡田篤正 水路
26-4

1998 4-9

安政元年（1854）伊賀上野地震に関する資料調査—京都府南部地域について—

中西一郎（他）歴史地震
15

1999 125-131

阪神・淡路大震災と地震保険—保険金支払い状況と今後の課題

吉村昌宏 地震ジャーナル
25

1998 5-51

災害対策への地理学的アプローチ—土砂災害と活断層災害を中心に—

中田 高 地理科学
53-3

1999 181-190

京都地図物語

植村善博・上野 裕
古今書院
1999 126

阪神・淡路大震災における倒壊建築物からの人命救助に関する調査研究

佐土原聡・岡西 靖 総合都市研究
68

1999 33-43

地形・地盤情報から見た阪神・淡路大震災一市街地建築
構造物の分布状況を対象として一

沖村 孝・田中泰雄 地形
20-4

1999 373-382

阪神・淡路大震災以降のトレンチ調査からみた近畿の
主要活断層の活動履歴（要旨）

寒川 旭 地形
20-4

1999 383-386

活断層沿いの土地利用規制を考える

増田 聡・村山良之 地形
20-4

1999 387-404

地震防災における地震調査研究の課題、特に活断層の
長期評価について

熊木洋太 地形
20-4

1999 405-418

日本の各種災害統計（概要）

牛山素行 地形
20-4

1999 419-425

阪神・淡路大震災の被害の実態と深部地盤構造

中川康一・石川浩次 地質と調査
1999-4

1999 5-12

中世後期大和の地震について

吉田 綾 橋史学
14

1999 5-25

兵庫県南部地震に伴って六甲山地に出現した尾根を横切
る地割れの形成プロセス

石井孝行（他） 地理学評論
72A-10

1999 691-706

京都市上京区における災害弱地域と高齢者の生活行動に
関する研究

萩原良巳（他） 京都大学防災研究所年報
43B-2

1999 71-83

災害危険度情報と住宅立地に関する研究

多々納裕一（他） 水資源研究センター研究報告
19

1999 87-100

京都の地震環境

植村善博
ナカニシヤ出版
2000 118

日本の活断層の縮尺 1/25000 での新規判読・図化と地理情
報データベース化一特に技術的側面を中心とした報告一

隈元 崇（他） 活断層研究
19

2000 12-22

最近の地震被害の特徴と教訓

奈良岡浩二 電子情報通信学会技術研究報告
99

2000 15-20

阪神・淡路大震災における被害の時系列追跡調査

荻本孝久（他） 総合都市研究
72

2000 205-218

震災時の道路閉塞推定に関する研究一防災街づくりのた
めの密集住宅市街地整備方策の定量的比較分析一

今泉恭一・浅見泰司 日本建築学会計画系論文集
529

2000 225-231

近畿三角帯における活断層調査一主要活断層の活動履歴
と地震危険度一

地質調査所活断層研究グループ 第四紀研究
39-4

2000 289-301

DMSPO/OLS 夜間可視画像を用いた被災地推定の妥当性の検証—トルコ・マルマラ地震（1999）及び阪神・淡路大震災（1995）への適用—

高島正典・林 春男 地域安全学会論文集

2

2000 69-78

防災の社会心理学—社会を変え政策を変える心理学—

林 理

川島書店

2001 182

消防団の源流をたどる—二十一世紀の消防団の在り方—

後藤一蔵

近代消防社

2001 210

防災技術思想の展望—パラダイムシフトと防災技術の思想的論議に向けて—

小川 滋 砂防学会誌

54-1

2001 1-3

元暦2年（1185）京都地震の被害実態

西山昭仁 月刊地球

23-2

2001 104-112

花折断層南部、京都市修学院地区における活動履歴調査

吉岡敏和（他）活断層・古地震研究報告

1

2001 133-142

都市計画と安全

中林一樹 都市問題研究

53-3

2001 16-31

近畿地方北部、山田断層系・中藤断層の活動履歴調査

吉岡敏和（他）活断層・古地震研究報告

1

2001 167-174

古地震に関する歴史地理学的考察—寝屋川地域の神社石造建築物を例として

木谷幹一 自然と環境

3

2001 19-21

歴史資料としての絵図・絵画等に見られる自然災害の解析—主として弘化四年善光寺地震を例に—

古谷尊彦 歴史地理学

43-1

2001 20-26

六甲山地南麓扇状地での土石流・洪水堆積物の堆積時期・堆積場の変遷

六甲土石流団体研究グループ 地球科学

55-4

2001 201-216

陸域地震と活断層の分布相関—地震被害軽減のために—

松田時彦 歴史地理学

43-1

2001 27-33

近畿三角帯における活断層調査—主要活断層の活動履歴と地震危険度—

地質調査所活断層研究グループ 第四紀研究

39-4

2001 289-301

学会展望 [特設レポート] 災害・防災

中林一樹 人文地理

53-3

2001 294-300

活断層上への防災土地規制の導入可能性—全国の市および東京特別区の防災と都市計画担当者の意向—

村山良之・増田 聡 季刊地理学

53-1

2001 34-44

地形要因が地価に及ぼす影響についての統計的分析

水谷武司 地形
22-1
2001 43-58

文政13年(1830)京都地震における震災対応

西山昭仁 歴史地震
17
2001 49-68

災害と近世社会—「大変」の構造—

江藤彰彦 歴史地理学
43-1
2001 65-78

歴史地震資料と地震災害—松田時彦報告によせて—

額田雅裕 歴史地理学
43-1
2001 86-89

**もう一つの阪神・淡路大震災—地震発生時刻が異なった
場合の災害状況シナリオ—**

長能正武 地学雑誌
110-6
2001 915-923

巨大災害の様相とその対応策の考え方

河田恵昭 地学雑誌
110-6
2001 924-930

危機管理の視点に立った地震被害予測の重要性

鈴木敏正 地学雑誌
110-6
2001 963-970

**大阪市における防災対策について—地域防災計画の主要
な見直し項目を中心として—**

穂山常男 都市問題研究
53-3
2001 97-112

**地方自治体における防災対策と都市計画—防災型土地利
用規制にむけて—**

増田 聡・村山良之 地学雑誌
110-6
2001 980-990

構造物の地震リスクマネジメント

星谷 勝・中村孝明
山海堂
2002 180

新関西地盤—京都盆地—

関西地盤情報活用協議会地盤研究委員会 関西地盤情報
活用協議会地盤研究委員会
2002 196

50万分の1活構造図「京都」(第2版)の出版

水野清秀(他) 地質ニュース
579
2002 1-6

**共同住宅における高齢者の避難計画に関する研究—シル
バーピアにおける防火・避難対策実態調査結果から—**

古川容子(他) 日本建築学会計画系論文集
555
2002 1-8

地震記象からみた1946年南海地震の震源過程

橋本徹夫・菊池正幸 地学雑誌
111-1
2002 118-125

**2001年芸予地震前後の近畿地方及びその周辺における地
下水・地盤歪変化**

小泉尚嗣(他) 地震
55-2
2002 119-127

**地域社会の機能・領域・人の縁からみた社会単位に関す
る研究**

鈴木麻衣子(他) 日本建築学会計画系論文集
552
2002 199-206

- 徳島県浅川地区における次の南海地震津波襲来時の被害と避難経路に関する一考察
大谷 寛 (他) 歴史地震 18
2002 207-214
- 兵庫県南部地震による神戸市西部の市街地被害の方位特性
西部 均・平野昌繁 地理学評論 75A-7
2002 479-491
- 伝統的建築物群の保存修理事業の実態—高山市三町地区での事例—
公文 暁 (他) 日本建築学会計画系論文集 552
2002 215-222
- 都市・情報災害について
廣井 脩 自然災害科学 特別号
2002 51-56
- 災害用食料と飲料水の備蓄—京都府、和歌山県と被災地・周辺市との比較から—
奥田和子・大槻綾美 甲南家政 37
2002 29-48
- 花折断層南部の過去2回の活動時期—京都市修学院地区におけるトレンチ調査結果—
吉岡敏和 (他) 活断層研究 21
2002 59-65
- 近畿・中国・四国地方とその周辺の地震活動
横山博文 号外地球 38
2002 31-42
- 地理情報システムを利用した緑地の緊急避難場所としての評価—神奈川県西部地震を想定して—
中嶋伸行 神奈川県自然環境保全センター研究報告 29
2002 7-13
- 防災分野におけるGIS活用のためのデータ品質評価に関する研究
秋本和紀 (他) GIS—理論と応用 10-1
2002 39-48
- 2000年鳥取県西部地震前後の近畿地方及びその周辺における地下水・地盤歪変化
高橋 誠 (他) 地震 55-1
2002 75-82
- 地震工学から総合防災へ
亀田弘行 京都大学防災研究所年報 45A
2002 43-55
- 将来の大地震による強震動を予測するためのレシビ
入倉孝次郎 (他) 京都大学防災研究所年報 46B
2003 105-120
- 活断層に起因する国宝文化財の地震危険度評価—国宝文化財所在地データベースの構築と活断層データベースとの連携—
二神葉子・隈元 崇 考古学と自然科学 44
2002 45-75
- 活断層位置情報から見た土地利用の問題点と「活断層法」について—活断層詳細デジタルマップの活用例(1) 学校施設と活断層—
中田 高・隈元 崇 活断層研究 23
2003 13-18

震災リスク軽減のための水辺環境の創成計画に関する研究

萩原良巳（他） 京都大学防災研究所年報
46B

2003 45-52

高校の授業 日本史 中世自治都市と明応の大地震

新田康二 歴史地理教育
662

2003 52-55

京都市旧市街地における災害弱地域と高齢者のコミュニティに関する研究

萩原良巳（他） 京都大学防災研究所年報
46B

2003 53-59

コミュニティの活性化・不活性化が災害時の情報伝達に及ぼす影響に関する研究

萩原良巳・畑山満則 京都大学防災研究所年報
46B

2003 61-79

地震時の室内変容に伴う人的被害危険度評価に関する研究（3）室外への避難脱出経路の危険度評価法の提案

岡田成幸・黒田誠宏 日本建築学会構造系論文集
563

2003 83-89

京都盆地の地盤震動特性と重力基盤

赤松純平・駒澤正夫 京都大学防災研究所年報
46B

2003 929-935

人はなぜ逃げ遅れるのか—災害の心理学—

広瀬弘忠
集英社新書
2004 238

火 災**日本書紀の火災記事について**

藤沢典彦 古代研究
1

1973 1-7

〈史料紹介〉弘化三年江戸大火其他諸事覚

大三輪龍彦 史游
3

1973 15-18

タキトウス『年代記』一五・四四・二一五について—六四年ローマ市大火と「キリスト教徒迫害」にかんするテクストの検討

弓削 達 歴史学研究報告
15

1975 1-36

都市大火と都市防火（都市防災〈特集〉）

鈴木唯一郎 都市計画
89

1977 32-39

酒田市大火の延焼状況等に関する調査報告—4—

山下邦博 火災
27-5

1977 16-20

大震火災時における消防力の効率的運用による優先防禦路線選択に関する研究（昭和52年度都市計画学会学術研究発表会論文集）

梶 秀樹・八幡得久 都市計画 別冊
12

1977 181-186